



にこにこだより



令和2年（2020年）7月7日（火）
横須賀市立ろう学校 幼稚部

第9号

★たなばたの会★

7月6日（月）たなばたの会を行いました。この日に向けて、毎日「たなばたさま」の歌を一緒に練習してきました。子どもたちは自信がないのか、最初は小さな声でしたが、次第に大きな声で歌えるようになり、本番では本当に立派な姿で歌ってくれました。今年はおやつのゼリーがありませんでしたが、その分、一緒に遊んだり本を読んだりして楽しい時間を過ごしました。また司会や、始め・終わりのことは、そしてみんなの前で自分の願いを発表するなど、子どもたちは緊張する場面をたくさん経験しました。ドキドキしたと思いますが、責任を果たした後の顔は見ていてとても晴れやかでした。やり遂げた後にしか感じることでできない満足感を持ったのではないのでしょうか。



★たなばたゲーム★

あ、織姫が泣いている！山下先生のお話によると、織姫と彦星が仲良くしたいのに、天の川がなくなってしまったそう。さあ、みんなで星を探して天の川を作ろう！写真は、教室中に隠れている星たちをみんなで探している場面です。ゴミ箱の下？ロッカーの中？えっこんなところに！先生たちが知恵を絞って隠した星たちも、子どもたちはあっという間に探し出してしまいます。星を見つけると本当に嬉しそう。「あったー！」と言って一目散にホワイトボードに駆け付け、天の川を作っていました。



★お願いごと★



たんぽぽさん

「アンパンマンとママと一緒に遊びたいです」

あさがおさん

「だいくさんになりたいです」

「けいさつかんになりたいです」

笹に向かってそれぞれのお願いをしました。
お願いをすると、どこからともなく「わかったよー」
という低い声が聞こえてみんなびっくり。

★絵本の読み聞かせ★



会の中で野田先生が読んでいるのは『10びきのかえるのたなばたまつり』という絵本です。
ん？読んでいる？ もちろん、落ち着いて頁をめくる場面もありますが、読み聞かせでは子どもたちの感情を揺さぶるための様々な工夫が必要となります。野田先生が演じているのは主人公のカエルたちを食べようとしたザリガニです。カエルたちが食べられそうになると、子どもたちは怖がったり怒ったり。「あぶないよ！」「逃げてー！」などという言葉も自然に出てきます。

子どもたちの気持ちが絵本に入ってくると、大人も子どもも絵本をもっと楽しむことができます。子どもたちが理解したり表現したりすることは経験に伴って増えていきますが、日常生活ではその経験自体も限られてしまいます。ふだん、大声で「逃げてー」なんて言う場面はあまりないでしょう。でも絵本の中は、時間や場所が自由自在。日常生活ではありえないような世界に子どもたちを連れて行ってくれます。そして、日常生活では使わないようなことばにも出会わせてくれるのです。感情が豊かになり、子どもたちなりに教訓を学びとることがあるなど、絵本のは計り知れません。

子どもたちのお気に入りの本はありますか？それぞれお気に入りの場面もあるでしょう。お忙しいとは思いますが、ぜひご家庭でも絵本の読み聞かせに挑戦してみてください。